

平成 24 年度決算について

麻生議員提出資料

平成 25 年 7 月 30 日

報 道 発 表

平成 2 4 年度決算概要（見込み）

平成 25 年 7 月 3 日
財 務 省

（単位：億円、億円未満切捨）

〔歳 入〕		〔歳 出〕	
税 収	13,244	不 用	18,562
〔 法人税 7,663 〕		〔 国債費 5,346 〕	
〔 所得税 3,914 等 〕		〔 予備費 2,368 〕	
税 外 収 入	5,370	〔 その他 10,848 〕	
〔 日本銀行納付金 2,720 等 〕			
公 債 金	▲ 20,000		
〔 特例公債 ▲20,000 等 〕			
計	▲ 1,385	計	18,562
		合 計	17,176 (A)

地方交付税交付金等財源増 4,229 (B)

差引（A-B）	12,946
---------	--------

（復興分）

・ 23 年度 1・2 次補正分（税外収入 666、不用 3,278） 3,945 (C)

・ 23 年度 3 次補正、24 年度分（税外収入 201、不用 7,110） 7,311 (D)

復興分（C + D）＝ 11,257

（注1）財政法第6条の純剰余金（A - B + C）は、16,892億円となる。

（注2）復興分は、今後平成26年度までに東日本大震災復興特別会計に繰り入れる予定である。

（注3）計数は、現段階における見込みであるので、異同を生ずることがある。

平成24年度決算について

- 平成24年度一般会計税収の決算額は、43.9兆円であり、法人税及び所得税を中心として補正後予算額を＋1.3兆円上回った。
- 法人税は、企業収益が見込みよりも改善したこと等を背景として、補正後予算額を＋0.8兆円上回り、9.8兆円となった。
- 所得税は、配当所得の増加等を背景として、補正後予算額を＋0.4兆円上回り、14.0兆円となった。
- 但し、この＋1.3兆円のうち、日本銀行納税分等、24年度限りの事情に基づく一時的な増加であるため、25年度税収の見積りを押し上げる要因（土台増）とならない部分が数千億円程度あることに留意が必要。

	23年度 決算額 (a) (億円)	24年度 補正後 予算額 (b) (億円)	24年度決算(概数)			25年度 予算額 (億円)
			(c) (億円)	対補正 増減 (c-b) (億円)	対23決算 増減 (c-a) (億円)	
一般会計分計	428,326	426,070	439,314	＋13,244	＋10,988	430,960
所得税	134,762	136,010	139,925	＋3,915	＋5,163	138,980
法人税	93,514	89,920	97,583	＋7,663	＋4,069	87,140